



通地区 橋梁架け替え 平成26年完成予定

問 村道の未登記部分と税金の関係は。

答 村道敷の面積を確定しないと減免できないので、測量後に固定資産税の減免措置に移る。

観光課関係では、駅前無料休憩所の冬期間暖房燃料費に54万9千円、100日間の開設委託料を「アルプスの会」に52万8千円。観光振興計画の住民意識アンケート調査費

用として60万4千円の増額。振興公社事務所の下水道接続費45万4千円の増額。

問 アンケート結果の委託先と対象者は。

答 入札で決定する予定。20〜70歳代の住民を対象。地区・年代別に分け、無作為抽出2000名に、来年1月下旬をめどに実施。

上下水道課関係では、合併浄化槽整備補助金30万円の増額。▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●議案第70号 平成25年度白馬村下水道事業特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算総額にそれぞれ80万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ6億1878万円とするもの。

下水道受益者負担金調査等にかかる時間外勤務手当50万円の増額、浄化センターの汚泥脱水機の大形化による電気料金不足分30万円の増額。▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●議案第71号 平成25年度白馬村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算総額に、それぞれ30万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ3482万2千円とするもの。

東部処理場の光熱水費不足分30万円の増額。▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●議案第72号 平成25年度白馬村水道事業会計補正予算(第4号)

落倉など2カ所の漏水などによる送水ポンプ使用増加による電気料金65万円を増額。▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●陳情第5号 元気な地域づくりに関する陳情書

参考人として、白馬商工会杉山会長、松沢事務局長の説明を求める。

平成10年には720名であった会員が、現在は580名、約20%減。まずは集客す

るために、白馬の知名度を上げ観光を活性化することが必要。また、施設の固定資産税や国民健康保険税の重税感から、軽減を図ってほしい。商

工事業者育成に関する施策がみられず、特に「小規模事業者経営改善資金融資制度」への利子補給制度を実現してほしい。消費税増税の影響による経営圧迫を軽減するための施策や、外国人対策の推進なども必要と考える。

問 固定資産税の減免幅が30〜50%、期間を3〜5年とする根拠は。

答 (参考人) 期間は、施策を打った場合に、効果が出てくると思われる適当な期間であり、減免幅は、災害や、農作物被害による減免幅などを参考にして組み立てた。

意見

○総論的には賛成。的確な施策を打ってほしいというものがと理解する。商工業者だけに限ったものではない。

討論一部採択にするべきではないか。

▽委員多数の賛成により一部採択すべきものと決定。